

経常利益 140 億円

経常利益は、資金利益の増加などから、前中間期に比べ12億円増加し、140億円となりました。

親会社株主に帰属する
中間純利益 101 億円

親会社株主に帰属する中間純利益は、前中間期に比べ9億円増加し、101億円となりました。

総預金等
(9月末残高) 6兆2,703 億円

※総預金+譲渡性預金

総貸出金
(9月末残高) 5兆720 億円

自己資本比率
(国内基準) 12.58%

経営の健全性を示す自己資本比率は国内基準を大きく上回っています。

不良債権比率 1.33%

健全な資産を維持しています。

格付け A (安定的)

格付投資情報センター (R&I)

経営の健全性や信用力が評価されています。

株主優待制度

当行では、株主さまの日頃からのご支援に感謝し、株主優待制度を導入しております。

このたび、株主さまに当行株式を長期にわたり継続的に保有していただくことを目的として、2026年3月31日の基準日より株主優待制度の内容を下記のとおり変更いたします。



- 対象となる株主さま
毎年3月31日現在の当行株主名簿に記録された1,000株以上をお持ちの株主さまのうち、株式保有期間が1年以上の株主さま
 - 株主優待の内容
三重県ゆかりの名産品を掲載した「株主さまご優待ギフトカタログ」のなかから、株式保有期間に応じてお好みの一品をお選びいただけます。
- | 株式保有期間 | お選びいただける特産品 |
|----------|-------------|
| 1年以上3年未満 | 3,000円相当 |
| 3年以上 | 5,000円相当 |
- 詳細は
右記の2次元
コードから
ご確認ください
-

株主総会資料の電子提供制度に関するお知らせ

会社法改正により、株主総会資料は原則ウェブサイトで電子提供しています。

株式の状況

発行する株式の総数	396,000千株	上場証券取引所	東京・名古屋
発行済株式の総数	254,119千株	証券コード	8368
株主数	21,455名		

(注) 株主数は自己株式分を除いております。

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会議決権：毎年3月31日現在の株主さま 期末配当金：3月31日現在の株主さまに対し、株主総会の決議によりお支払いします。 中間配当金：中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまに対しお支払いします。
公告方法	電子公告：当行ホームページ https://www.hyakugo.co.jp/ に掲示します。 ただし、電子公告ができない場合は日本経済新聞および伊勢新聞に掲載します。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

編集 / 株式会社百五銀行 経営企画部
三重県津市丸之内31番21号
電話 059-223-2326
(本店所在地：三重県津市岩田21番27号)
2025年12月発行
<https://www.hyakugo.co.jp/>



HYAKUGO BANK REPORT 2025

ミニディスクロージャー誌

2025年9月期 営業の中間ご報告

当行の概要 (2025年9月30日現在)

名称	株式会社百五銀行
創立	1878年(明治11年)11月19日
本店所在地	三重県津市岩田21番27号
代表者	取締役頭取 杉浦 雅和
資本金	200億円
従業員数	2,286名

Top Message

取締役頭取

杉浦雅和



平素は、百五銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は、これからもお客さまにさまざまな金融サービスをご提供することで、「頼りにされる銀行」となることをめざしてまいります。今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当行は本年度より、中期経営計画「KAI-KAKU 150 FINAL STAGE『未来への挑戦』」への取り組みをスタートしました。この計画は、節目となる創立150周年に向けた4年間の計画であり、10年の長期ビジョン「グリーン&コンサルバンクグループをめざして」の最終ステージとなる非常に重要な位置づけの計画となります。

生産年齢人口の減少やデジタル化の進展など地域や当行を取り巻く環境は目まぐるしく変化しておりますが、スピード感をもって変革を進め、あらゆることに「挑戦」し続けることで、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

地域の皆さまとともに発展していくために、グループの総力を挙げ、全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

2025年4月～2029年3月

中期経営計画 KAI-KAKU 150 FINAL STAGE

本中期経営計画では、「経済価値」と「社会価値」双方を創出することで、地域活性化や企業価値向上をめざすことをコンセプトとしております。この実現に向けて、コアビジネスである「銀行業」の強固かつ効率的な事業態勢の構築と、「地域を創造する新事業」の創出や育成に積極的に取り組みます。

中期経営計画の達成を図る指標として、財務目標に加え非財務目標を設定しています。これら目標の達成のため、5つの基本戦略「社会価値の創造」「成長への挑戦」「人材戦略」「デジタルトランスフォーメーション」「戦略基盤の強化」を進めてまいります。

105 TOPICS

Topic 01 事業承継への取り組み

第7期百五後継者育成塾の開講



2025年7月25日、百五総合研究所との共催で「第7期百五後継者育成塾」を開講しました。

本塾は開講以来、累計200名の後継者および経営幹部の皆さまに受講いただいております。経営の基礎知識から実践的な戦略立案、人材マネジメント、事業承継の進め方まで、実務に直結する幅広いテーマを体系的に学んでいただいております。

これまでの参加者からは「自社を客観的に見つめ直す貴重な機会となった」、「異業種の方々とのディスカッションを通じて、新たな発見や気づきを得られた」、「懇親会やグループワークを通じ、同じ悩みを持つ仲間とつながりができた」など好評をいただいております。

三重県の後継者不在率は、全国的に低い水準ですが、事業承継を重要課題と認識している経営者は多く、当行でも年間600件以上の事業承継のご相談をいただいております。

地域とともに歩む百五銀行は、地域企業の皆さまの持続的な成長と円滑な事業承継の支援を行い、これからも地域の発展に寄与していきます。

未来への挑戦

財務目標

非財務目標

2028年度	連結純資産ROE	5%以上
	連結当期純利益	240億円以上
2030年度	サステナブルファイナンス	1兆円 (うち環境関連融資5,000億円以上)
2028年度	お客さまの経営課題解決数	累計1,000件
	地域課題への関与件数	累計30件
	預り資産残高 増加額*	500億円
	金融経済教育 開催数	累計500回
	従業員エンゲージメント指数	85%以上
	女性役職者比率	25%以上
	GHG排出量 (Scope1,2)	ネットゼロ

※ 2025年3月末比 銀証合算投資信託残高の増加額

Topic 02 海外ネットワークを活用した地域課題解決への取り組み

伝統産業をサポート ブラジル銀行との連携で ペタライト輸入を実現！



2025年8月に大阪・関西万博のブラジルパビリオンにて関係者をお招きし、ブラジル産「ペタライト」の輸入実現について披露しました。

四日市市の伝統産業である「萬古焼」の土鍋*1製造に欠かすことができない材料である「ペタライト*2」の輸入国多元化のため、当行が提携先のブラジル銀行と萬古焼の事業者の皆さまの架け橋となり、ブラジル産ペタライトの輸入が実現しました。

ペタライトは、電気自動車の普及で世界的に需要が急激に高まっている「リチウム」を含有する鉱物です。近年、最大の産出国であるジンバブエ共和国からの輸入が困難になりつつあり、輸入国の多元化が求められていました。今般の輸入実現は、新たな調達先の確保に向けた第一歩と考えています。今後におきましては、地域産品の海外への販路拡大支援をめざしていきます。

当行はこれからも、独自のネットワークを活用した「地域課題の解決」に積極的に関与することで、地域の活性化に努めていきます。



※1 「萬古焼」の土鍋 生産量日本一を誇り、高熱にも耐え、急激な冷却でも割れない土鍋として業務用・家庭用に広く利用されています。材料としてペタライトを使用しています。

※2 ペタライト ケイ酸塩鉱物の一種でリチウムを含有しており、主にアフリカ南部のジンバブエ共和国などで産出しています。特徴としては、熱膨張率が非常に低く、また急熱急冷に対しても強いいため、その特徴を活かし、耐熱陶磁器、耐熱ガラス、特殊研磨剤の原料として使用されています。